

青山道夫 あきやま だうふ 民法學者、法學博士。明治二十五年四月八日宮城縣石巻生れ、昭和五十二年七月九日歿（一九〇一七六）。昭和二年東京帝國大學法學部卒。大倉高等商業學校教授を経て、十九年九州帝大教授。文化人類學を基礎とし家族法を研究。

澤書小、パウエル・ヴァイングランド著『慣習と權利』（昭和九年十一月二十五日岩波書店「岩波文庫」）、アール・エッチ・ロウイ著『國家及家族感情の起源』（昭和十年十一月十六日時潮社「時潮叢書」）、L・H・モルガン著『古代社会』全二冊（上巻・昭和二十二年七月二十日、下巻・二十六年九月五日岩波書店「岩波文庫」）等。

著書『ソロモンの諸島とその附近—地理と民族』（合著・大正洋協會學術委員編、昭和十八年八月二日大正洋協會「出版部」）『大正洋全集』、『日本家族制度の研究』（昭和二十二年七月二十日巖松堂書店）、『現代の家族法』（昭和二十九年十一月二十日岩波書店「岩波新書」）、『思ひ出の本』（合著、昭和五十九年十月十五日出版（ニューズ社）等。

